



2021年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月15日
東

上場会社名 ユニオンツール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6278 URL www.uniontool.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 片山 貴雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 倉田 憲昌 (TEL) (03) 5493-1017
 定時株主総会開催予定日 2022年3月30日 配当支払開始予定日 2022年3月31日
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期の連結業績 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	28,174	23.5	5,430	89.6	5,407	90.6	3,803	49.8
2020年12月期	22,817	△0.3	2,864	△6.8	2,836	△4.3	2,539	6.5

(注) 包括利益 2021年12月期 6,426百万円 (344.1%) 2020年12月期 1,447百万円 (△44.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	220.18	—	6.7	8.8	19.3
2020年12月期	147.01	—	4.7	4.9	12.6

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 -百万円 2020年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	64,530	59,060	91.5	3,418.74
2020年12月期	58,032	53,966	93.0	3,123.78

(参考) 自己資本 2021年12月期 59,060百万円 2020年12月期 53,966百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	5,825	△3,163	△1,440	17,240
2020年12月期	5,071	684	△1,112	15,550

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	30.00	—	40.00	70.00	1,209	47.6	2.2
2021年12月期	—	37.00	—	40.00	77.00	1,330	35.0	2.4
2022年12月期(予想)	—	40.00	—	40.00	80.00		31.4	

(注) 2020年12月期期末配当金40円の内訳は、普通配当30円、特別配当10円であります。
 本日付けで2021年12月期期末配当予想を修正しております。詳細は別途開示の書面をご覧ください。

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,300	7.7	2,650	16.0	2,700	14.2	2,000	13.5	115.77
通期	29,300	4.0	5,800	6.8	5,800	7.3	4,300	13.0	248.90

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期	19,780,000株	2020年12月期	19,780,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期	2,504,477株	2020年12月期	2,503,910株
③ 期中平均株式数	2021年12月期	17,275,843株	2020年12月期	17,276,137株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年12月期の個別業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	19,832	23.7	3,905	136.3	5,125	103.4	3,760	61.5
2020年12月期	16,033	3.5	1,652	0.5	2,519	16.4	2,327	27.1
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期	217.66		—					
2020年12月期	134.75		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2021年12月期	51,551		47,585		92.3	2,754.49		
2020年12月期	47,278		44,416		93.9	2,570.96		

(参考) 自己資本 2021年12月期 47,585百万円 2020年12月期 44,416百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(金額単位の変更について)

当社の連結財務諸表及び財務諸表に掲記される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、当連結会計年度及び当事業年度より百万円単位をもって記載することに変更しました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前事業年度についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12
4. 個別財務諸表及び主な注記	13
(1) 貸借対照表	13
(2) 損益計算書	15
(3) 株主資本等変動計算書	16
(4) 個別財務諸表に関する注記事項	18
(継続企業の前提に関する注記)	18
(重要な後発事象)	18
5. その他	18
(1) 役員等の異動	18
(2) 部門別の状況	18
(3) 海外売上高	18
(4) 為替換算レートと為替変動の影響試算額	18
(5) 設備投資、原価償却費および研究開発費の状況	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行から徐々に回復に向かいました。しかし年後半には、変異種の出現もあり、依然予断を許さない状況が続いています。また、世界的なサプライチェーンにおける半導体等の部品不足、原油や原材料価格の高騰、物流遅延など、先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループに関連深い電子機器業界では、半導体関連をはじめ、電子機器工業界全般の活況に伴う需要増加の状況が続き、増収に結びついております。省人化設備の投入強化等、需要増加に対応すべくグループを挙げ生産体制を強化し、稼働率を向上することで収益面でも大きな成果が表れました。また、高付加価値品へのユーザーニーズのシフトが更なる収益性の向上に寄与し、前連結会計年度から大幅な増益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は28,174百万円(前年同期比23.5%増)となり、営業利益は5,430百万円(同89.6%増)、経常利益は5,407百万円(同90.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,803百万円(同49.8%増)となっております。

次にセグメント別の状況ですが、「日本」では、半導体関連製品の旺盛な需要、車載関連製品の回復により需要が急増しました。高付加価値品への需要の高まりが拡大したことにより利益率の大幅な改善につながっております。この地区での売上高(セグメント間取引消去を含む。以下同じ。)は19,832百万円(前年同期比23.7%増)となり、セグメント利益(営業利益)は3,905百万円(前年同期比136.3%増)となっております。

日本を除く「アジア」では、生産活動全般の盛り上がりと製造強化の動きが感じられ、当社グループが得意とする高付加価値工具への需要の高まりにより好調に推移しました。前期比増収増益と利益率の改善を達成しております。この地区での売上高は14,044百万円(同22.2%増)となり、セグメント利益は1,454百万円(同44.0%増)となっております。

その他、欧米地区でも半導体関連製品、自動車関連製品の回復による需要の拡大を受け好調に推移いたしました。北米地区での売上高は1,324百万円(同16.8%増)、セグメント利益は59百万円(同42.9%増)、欧州地区の売上高は1,934百万円(同35.7%増)、セグメント利益は181百万円(同79.0%増)となっております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、64,530百万円(前連結会計年度末比6,498百万円増)となりました。

流動資産合計は36,493百万円(同4,355百万円増)となりました。主な変動要因は、現金及び預金(同1,643百万円増)、受取手形及び売掛金(1,691百万円増)であります。

固定資産合計は28,037百万円(同2,143百万円増)となっております。このうち、有形固定資産合計は22,173百万円(同651百万円増)となり、投資有価証券の増加(同1,489百万円増)を含む投資その他の資産合計は5,794百万円(同1,488百万円増)となっております。

当連結会計年度末の負債合計は5,470百万円(前連結会計年度末比1,404百万円増)となりました。

流動負債合計は4,564百万円(同1,350百万円増)となり、固定負債合計は906百万円(同54百万円増)となっております。

当連結会計年度末の純資産合計は59,060百万円(前連結会計年度末比5,093百万円増)となりました。株主資本合計が55,896百万円(同2,471百万円増)、その他の包括利益累計額合計が3,163百万円(同2,622百万円増)となっております。主な変動項目は利益剰余金(同2,473百万円増)と為替換算調整勘定(1,833百万円増)であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,689百万円増加し、当連結会計年度末現在17,240百万円となっております。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、事業活動の安定と利益向上を主因として、5,825百万円の収入（前年同期比753百万円の収入の増加）となっております。主なキャッシュ・イン項目は、税金等調整前当期純利益5,178百万円および減価償却費2,681百万円であり、主なキャッシュ・アウト項目は、売上債権の増加1,009百万円および法人税等の支払額1,161百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,163百万円の支出（同3,847百万円の支出の増加）となりました。有形固定資産の取得による支出2,617百万円および投資有価証券の取得による支出721百万円が主な変動要因となっております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,440百万円の支出（同327百万円の支出の増加）となりました。配当金の支払額1,329百万円が主な変動要因となっております。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率	91.0	92.0	93.3	93.0	91.5
時価ベースの自己資本比率	124.2	89.4	102.3	92.1	106.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.0	0.0	3.3	2.4	5.4
インタレスト・カバレッジ・レシオ	60,573.6	80,393.6	442.4	706.4	411.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としており、リース負債が含まれています。

(4) 今後の見通し

新型コロナウイルスの感染状況や世界的インフレ懸念の拡大、部材不足など世界経済の先行き不透明感が引続き高くなっています。このような中でも、電子工業界や自動車業界からの当社グループ製品に対する需要は旺盛に推進するものと思っております。今後とも、めまぐるしく変化する外部環境や需要動向に柔軟に対応し、更なる業容の拡大に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。国際財務報告基準(IFRS)の適用については、今後の事業展開や制度の動向を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,648	17,291
受取手形及び売掛金	7,790	9,482
有価証券	155	290
商品及び製品	4,676	5,102
仕掛品	1,079	1,263
原材料及び貯蔵品	2,552	2,846
その他	245	228
貸倒引当金	△9	△13
流動資産合計	32,138	36,493
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,919	15,436
減価償却累計額	△8,458	△9,125
建物及び構築物（純額）	6,461	6,310
機械装置及び運搬具	34,539	37,255
減価償却累計額	△25,908	△28,362
機械装置及び運搬具（純額）	8,630	8,893
工具、器具及び備品	2,232	2,347
減価償却累計額	△1,868	△2,041
工具、器具及び備品（純額）	364	306
土地	5,807	5,888
建設仮勘定	160	497
その他	255	431
減価償却累計額	△159	△154
その他（純額）	96	276
有形固定資産合計	21,521	22,173
無形固定資産	66	69
投資その他の資産		
投資有価証券	3,659	5,149
繰延税金資産	477	454
その他	199	230
貸倒引当金	△31	△39
投資その他の資産合計	4,306	5,794
固定資産合計	25,894	28,037
資産合計	58,032	64,530

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811	1,115
未払金	198	190
未払費用	808	917
未払法人税等	616	1,189
賞与引当金	551	796
その他	227	354
流動負債合計	3,213	4,564
固定負債		
長期末払金	219	219
繰延税金負債	5	—
退職給付に係る負債	575	500
その他	51	186
固定負債合計	852	906
負債合計	4,065	5,470
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998	2,998
資本剰余金	3,020	3,020
利益剰余金	54,139	56,612
自己株式	△6,732	△6,734
株主資本合計	53,425	55,896
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	334	1,075
為替換算調整勘定	260	2,093
退職給付に係る調整累計額	△53	△5
その他の包括利益累計額合計	541	3,163
純資産合計	53,966	59,060
負債純資産合計	58,032	64,530

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	22,817	28,174
売上原価	15,512	17,599
売上総利益	7,304	10,574
販売費及び一般管理費	4,440	5,144
営業利益	2,864	5,430
営業外収益		
受取利息	23	28
有価証券利息	25	11
受取配当金	99	85
原子力立地給付金	15	15
固定資産賃貸料	36	40
補助金収入	—	17
助成金収入	79	81
その他	70	39
営業外収益合計	350	318
営業外費用		
支払利息	7	14
売上割引	3	5
減価償却費	23	28
為替差損	194	120
支払手数料	94	118
租税公課	12	14
その他	41	40
営業外費用合計	377	341
経常利益	2,836	5,407
特別利益		
投資有価証券売却益	762	—
特別利益合計	762	—
特別損失		
減損損失	132	229
特別損失合計	132	229
税金等調整前当期純利益	3,467	5,178
法人税、住民税及び事業税	930	1,696
法人税等調整額	△2	△322
法人税等合計	927	1,374
当期純利益	2,539	3,803
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,539	3,803

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益	2,539	3,803
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,105	740
為替換算調整勘定	13	1,833
退職給付に係る調整額	△0	48
その他の包括利益合計	△1,092	2,622
包括利益	1,447	6,426
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,447	6,426
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,998	3,020	52,635	△6,732	51,922
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,036	—	△1,036
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	2,539	—	2,539
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	1,503	△0	1,502
当期末残高	2,998	3,020	54,139	△6,732	53,425

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	1,439	247	△53	1,634	53,556
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,036
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	—	2,539
自己株式の取得	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△1,105	13	△0	△1,092	△1,092
当期変動額合計	△1,105	13	△0	△1,092	410
当期末残高	334	260	△53	541	53,966

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,998	3,020	54,139	△6,732	53,425
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	△1,330	—	△1,330
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	3,803	—	3,803
自己株式の取得	—	—	—	△2	△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	2,473	△2	2,471
当期末残高	2,998	3,020	56,612	△6,734	55,896

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	334	260	△53	541	53,966
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	—	△1,330
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	—	—	—	3,803
自己株式の取得	—	—	—	—	△2
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	740	1,833	48	2,622	2,622
当期変動額合計	740	1,833	48	2,622	5,093
当期末残高	1,075	2,093	△5	3,163	59,060

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	3,467	5,178
減価償却費	2,747	2,681
減損損失	132	229
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△32	7
受取利息及び受取配当金	△147	△124
支払利息	7	14
為替差損益 (△は益)	11	△194
売上債権の増減額 (△は増加)	△270	△1,009
たな卸資産の増減額 (△は増加)	161	△418
仕入債務の増減額 (△は減少)	△203	139
投資有価証券売却損益 (△は益)	△762	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4	224
未払消費税等の増減額 (△は減少)	85	△12
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	33	163
その他	50	0
小計	5,275	6,878
利息及び配当金の受取額	148	122
利息の支払額	△7	△14
法人税等の支払額	△345	△1,161
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,071	5,825
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,576	△2,617
有価証券の売却及び償還による収入	1,097	164
投資有価証券の取得による支出	—	△721
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,235	—
その他	△72	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	684	△3,163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,036	△1,329
自己株式の取得による支出	△0	△2
その他	△75	△108
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,112	△1,440
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	468
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,585	1,689
現金及び現金同等物の期首残高	10,965	15,550
現金及び現金同等物の期末残高	15,550	17,240

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループでは固定資産の減損損失や繰延税金資産の回収可能性等の会計上見積もりを要する手続きに関して、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響につきましては、回復が見込まれることを前提としております。なお、この過程には不確実性が高く収束遅延により影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社は主に産業用切削工具を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においてはアジア、米国、欧州(スイス)の各地域に適宜現地法人を設立し、それらが、それぞれ各地区を担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取扱う製品については各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「北米」および「欧州」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一となっております。また、報告セグメントの利益は営業利益を採用しております。セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,166	11,092	1,132	1,425	22,817	—	22,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,866	398	0	0	7,266	△7,266	—
計	16,033	11,490	1,133	1,426	30,084	△7,266	22,817
セグメント利益	1,652	1,010	41	101	2,806	57	2,864
セグメント資産	47,358	15,137	1,550	1,129	65,176	△7,143	58,032
その他の項目							
減価償却費	2,075	736	31	21	2,865	△117	2,747
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,571	584	4	12	2,173	△115	2,058

(注)1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額57百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

(2) セグメント資産の調整額△7,143百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

(3) 減価償却費の調整額△117百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△115百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	連結財務 諸表計上額 (注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,459	13,456	1,323	1,934	28,174	—	28,174
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8,372	587	0	0	8,961	△8,961	—
計	19,832	14,044	1,324	1,934	37,135	△8,961	28,174
セグメント利益	3,905	1,454	59	181	5,601	△171	5,430
セグメント資産	51,307	17,610	1,725	1,313	71,957	△7,426	64,530
その他の項目							
減価償却費	1,956	728	36	30	2,751	△98	2,653
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,726	773	0	21	2,521	△184	2,337

(注)1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△171百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
 - (2) セグメント資産の調整額△7,426百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
 - (3) 減価償却費の調整額△98百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△184百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益との調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	3,123円78銭	3,418円74銭
1株当たり当期純利益	147円01銭	220円18銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,539	3,803
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	2,539	3,803
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,276	17,275

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,292	13,867
受取手形	618	945
売掛金	2,701	3,440
有価証券	155	290
商品	55	47
製品	2,165	2,254
原材料	1,494	1,593
仕掛品	885	1,058
貯蔵品	132	156
前払費用	100	82
関係会社短期貸付金	111	126
その他	83	89
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	20,788	23,942
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,415	5,265
構築物	121	130
機械及び装置	6,062	5,811
車両運搬具	25	20
工具、器具及び備品	291	213
土地	5,147	5,147
建設仮勘定	135	481
有形固定資産合計	17,200	17,071
無形固定資産		
ソフトウェア	43	49
その他	1	1
無形固定資産合計	44	50
投資その他の資産		
投資有価証券	3,616	5,106
関係会社株式	2,023	2,023
関係会社出資金	2,901	2,901
関係会社長期貸付金	323	242
破産更生債権等	—	4
繰延税金資産	256	88
敷金及び保証金	55	55
その他	67	69
貸倒引当金	—	△4
投資その他の資産合計	9,245	10,486
固定資産合計	26,490	27,608
資産合計	47,278	51,551

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当事業年度 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	75	133
支払手形	63	—
買掛金	379	624
未払金	116	75
未払費用	576	687
未払法人税等	496	1,012
預り金	136	202
賞与引当金	381	575
その他	4	6
流動負債合計	2,229	3,317
固定負債		
長期未払金	219	219
退職給付引当金	412	428
固定負債合計	632	648
負債合計	2,862	3,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998	2,998
資本剰余金		
資本準備金	3,020	3,020
資本剰余金合計	3,020	3,020
利益剰余金		
利益準備金	419	419
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	167	163
別途積立金	30,000	30,000
繰越利益剰余金	14,116	16,550
利益剰余金合計	44,703	47,133
自己株式	△6,732	△6,734
株主資本合計	43,989	46,417
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	426	1,167
評価・換算差額等合計	426	1,167
純資産合計	44,416	47,585
負債純資産合計	47,278	51,551

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	16,033	19,832
売上原価	11,694	12,885
売上総利益	4,339	6,947
販売費及び一般管理費	2,686	3,041
営業利益	1,652	3,905
営業外収益		
受取利息	50	31
受取配当金	907	952
為替差益	—	262
原子力立地給付金	15	15
固定資産賃貸料	12	11
その他	111	118
営業外収益合計	1,098	1,392
営業外費用		
減価償却費	16	20
為替差損	80	—
支払手数料	94	118
租税公課	12	14
その他	26	19
営業外費用合計	231	172
経常利益	2,519	5,125
特別利益		
投資有価証券売却益	762	—
特別利益合計	762	—
特別損失		
減損損失	132	229
投資有価証券評価損	188	—
特別損失合計	320	229
税引前当期純利益	2,962	4,896
法人税、住民税及び事業税	645	1,295
法人税等調整額	△11	△159
法人税等合計	634	1,136
当期純利益	2,327	3,760

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,998	3,020	—	3,020
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,998	3,020	—	3,020

	株主資本				
	利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		その他利益剰余金			
		固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	419	172	30,000	12,820	43,412
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	△1,036	△1,036
当期純利益	—	—	—	2,327	2,327
固定資産圧縮積立金の取崩	—	△4	—	4	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△4	—	1,296	1,291
当期末残高	419	167	30,000	14,116	44,703

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△6,732	42,698	1,401	1,401	44,100
当期変動額					
剰余金の配当	—	△1,036	—	—	△1,036
当期純利益	—	2,327	—	—	2,327
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	—
自己株式の取得	△0	△0	—	—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	△975	△975	△975
当期変動額合計	△0	1,291	△975	△975	316
当期末残高	△6,732	43,989	426	426	44,416

当事業年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	2,998	3,020	—	3,020
当期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	—	—
当期末残高	2,998	3,020	—	3,020

	株主資本				
	利益剰余金				
	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計
固定資産圧縮積立金		別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	419	167	30,000	14,116	44,703
当期変動額					
剰余金の配当	—	—	—	△1,330	△1,330
当期純利益	—	—	—	3,760	3,760
固定資産圧縮積立金の取崩	—	△4	—	4	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	△4	—	2,434	2,430
当期末残高	419	163	30,000	16,550	47,133

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△6,732	43,989	426	426	44,416
当期変動額					
剰余金の配当	—	△1,330	—	—	△1,330
当期純利益	—	3,760	—	—	3,760
固定資産圧縮積立金の取崩	—	—	—	—	—
自己株式の取得	△2	△2	—	—	△2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	740	740	740
当期変動額合計	△2	2,428	740	740	3,168
当期末残高	△6,734	46,417	1,167	1,167	47,585

(4) 個別財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(貸借対照表関係)

前事業年度において「支払手形」に表示していた「電子記録債務」は、明瞭性の観点から、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の貸借対照表の組み替えを行っております。

この結果、前事業年度の貸借対照表において、「支払手形」に表示していた138百万円は、「電子記録債務」75百万円、「支払手形」63百万円として組み替えております。

5. その他

(1) 役員等の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員等の異動

a. 常勤監査役の退任 小川 桂子

b. 執行役員の変動

小林 末 呉 (旧)常務執行役員 センサ測定器開発本部長 (新)退任

小川 桂子 (旧)常勤監査役 (新)執行役員 マーケティング本部長

(2) 部門別の状況

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

	切削工具事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	25,669	2,504	28,174	—	28,174
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	489	489	△489	—
計	25,669	2,994	28,663	△489	28,174
営業利益	5,173	558	5,731	△301	5,430

(3) 海外売上高

当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	15,198	1,278	1,870	119	18,466
II 連結売上高(百万円)					28,174
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	54.0	4.5	6.6	0.4	65.5

(4) 為替換算レートと為替変動の影響試算額

		US \$	EUR	NT \$	RMB
前連結会計年度	実績	103.50円	126.95円	3.68円	15.88円
当連結会計年度	実績	115.02	130.51	4.15	18.06
2022年12月期(見込み)	計画	110.00	125.00	4.00	17.00

対US \$ 1円の円高による影響額：年間の連結売上高が158百万円減少

年間の連結営業利益が15百万円減少

(5) 設備投資、減価償却費および研究開発費の状況

	設備投資	減価償却費	研究開発費
前連結会計年度	2,173百万円	2,747 百万円	1,658 百万円
当連結会計年度	2,521	2,681	1,811
2022年12月期(見込み)	3,548	2,705	1,888